

緊縮財政ひしひしと

一般会計2千955万円を削減

町一般会計を二千九百五十五万円削減するなど、十六年度の補正予算六件が提案され、審議の結果全て原案どおり可決されました。今回の一般会計の補正は、収入役を置かない条例と年度途中の退職者、人事異動に伴う人件費の調整、国県支出金の内示や精査に向けた事業費の増減と組み替えなどが主な骨子で、増減された主なものと質疑の概要は次のとおりです。

- ▽地方交付税：二億千四百万円増
- ▽民生費国庫負担金：二千九百九十四万円の減
- ▽減債基金繰入金：三億円の減
- ▽一般管理費：千五百三十二万円の減
- ▽塵芥し尿処理費：千三百七十五万円の減
- ▽水産振興費：二百二十四万円の減
- ▽土地区画整理費：二千八十七万円の減



下水道整備は、快適な生活環境の改善と山田の海と自然を守ることが目的です(船越浦の浜地区の下水道工事の様子)

特別交付税の見込みは

特別交付税は、例年どおり交付されるか。

答 まだこれからである。先日の新潟中越地震などに予算がとられるので、大幅に減るのではないかと。

寒冷地手当を廃止せよ

職員の寒冷地手当はなからぬのか。

答 国の勧告では、山田は削減の対象地区に入っていないが、住民の理解が得られないと思うので検討したい。

学童保育の状況は

放課後児童クラブは、当初の予定より利用者が少ないのはなぜか。

答 事前アンケートでは四十九人が利用したいと答えたが、現在の利用者は十四人である。状況を見ている人もあり、今後、増えるのではと考えている。

畜場の使用料の値上げを考へてはどうか。

答 使用料、手数料は検討中である。

区画整理事業の砂対策は

柳沢、北浜地区では風が強くなると、砂嵐のようになる。洗濯物も干せない状況があり、対応できないか。

答 砂利を敷いたり、水をまくなどの対応をしている。地域住民に迷惑をかけるないように対応していきたい。

鯨館のあり方を検討せよ

鯨と海の科学館のあり方を検討せよ。職員が二人常駐する必要はないのではないか。

答 職員体制、広告宣伝費、企画展、冬季の休館など、今後具体的に検討していく。



効率的な運営の検討が求められる「鯨と海の科学館」

答 県からの委託金は八百二十九万円である。このうち用地取得の登記などに三百四十三万円かかった。その他、人件費などが四百八十六万円である、町からの持ち出しはない。

国土調査の変更は可能か

国土調査の際、一度測量した後で境界の変更はできるのか。

答 期限内であれば双方の合意の上で再測量はできる。

下水道料金を改定

基本料金40円の値上げ

下水道料金が改定され、今年の四月料金から下表のとおり引き上げられることになりました。

町では、健康で快適な生活環境の改善を図り、生産の場である海、河川などの公共用水域の水質保全を目的として下水道の整備を進めています。今後、事業を行っていく上で、これま

で以上の財政支出が見込まれることから、経営の健全化を目的として、今回の料金改定となりました。

改定は平成十二年三月以来で、税込みでの引き上げ額は基本料金が四十円、超過料金(一般用)が九円になります。また、平成十六年四月の消費税法改正により、価格表示が「税抜き価

格」から「総額表示(税込み価格)」に義務付けられたことから、下水道料金も「総額表示」となります。

主な質疑は次のとおり。

問 標準家庭でどの程度の値上げとなるか。

答 四大家族で標準的な使用水量が二十五〜三十m³とすれば、百六十八〜二百十円の値上げとなる。

問 値上げにより、下水道の普及が進まないのでは。

答 山田の海と自然を守ることも訴えながら水洗化の融資制度や利子補給制度などをPRし普及を図る。

◆公共下水道、漁業集落排水処理施設料金改定表 単位：円

料金	用途	基本水量	現行(税込価格)	改定料金	増減額
基本料金	一般用	10m ³	1,200(1,260)	1,300	40
	浴場用	10m ³	1,200(1,260)	1,300	40
	臨時用	1m ³	180(189)	190	1
超過料金	一般用	1m ³	130(136)	145	9
	浴場用	1m ³	60(63)	70	7
	臨時用	1m ³	180(189)	190	1

町選管委員と補充員を選挙

議会は、平成16年12月18日に任期満了となる町選挙管理委員会委員と補充員のそれぞれ4人を選挙し、原案どおり決定しました。

■選挙管理委員会委員(再任)

- ▷和合協一(船越・67)▷田代省平(八幡・73)
- ▷勝山君雄(豊間根・65)▷阿部八太郎(大沢・68)



和合協一さん 田代省平さん 勝山君雄さん 阿部八太郎さん

■補充員(数字は、補充の順序)

- ①鈴木協子(山田・60)…再任 ②齋藤茂(船越・53)…再任
- ③木村幸喜(織笠・53)…再任 ④木村清美(豊間根・47)…新任

教育委員の任命に同意

新しい教育委員として、上澤富士夫さん(51)=大沢=の任命に同意を求める案件が提案され、議会はこれに同意しました。



上澤富士夫さん

議員定数検討特別委員会を設置

本町議会の議員定数は20人(平成15年4月選挙から適用 法定数は26人)ですが、本町を取り巻く状況が変化していることなどから、更なる検討を行う必要があるとして、本定例会で「山田町議会議員定数検討特別委員会」が設置されました。委員数は8人で、12月10日の初会合では、委員長に昆暉雄副議長、副委員長に日山忠郎議会運営委員長を選出しました。今後は、今年6月30日までの期限で議員定数の調査、検討を進めることになります。

発議案6件を原案可決

本定例会では、次の意見書が議員発議され、原案どおり可決されました。その後、政府関係機関へ提出されました。

- 所得課税の定率減税継続を求める意見書
- 消費税増税の中止を求める意見書
- 緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める意見書
- 介護保険の改悪に反対し、改善を求める意見書
- 乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書
- 地方交付税制度の堅持と総額確保に関する意見書

ことば…減債基金

町債(町で借ったお金)の返済を計画的に行うために積み立てている資金のこと。